

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年 3月16日

計画の名称	安全で安心な水環境をつくる（防災・安全）																								
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）						交付対象		越谷市																
計画の目標																									
下水道施設の整備を行い、安全で安心な住環境の創出と維持に努める。																									
計画の成果目標（定量的指標）																									
①改築対象ポンプ場(汚水)の改築更新率を5%（H25）から15%（H29）に増加させる。 ②改築対象管路施設の改築更新率を0%（H25）から25%（H29）に増加させる。 ③対象区域マンホール蓋の改築率を0%（H25）から50%（H29）に増加させる。 ④下水道による都市浸水対策達成率（社会資本整備重点計画）を67%（H25）から69%（H29）に増加させる。 ⑤都市下水路による浸水対策達成率を61%（H25）から71%（H29）に増加させる。 ⑥改築対象ポンプ場(雨水)の改築更新率を0%（H25）から8%（H29）に増加させる。 ⑦ストックマネジメント実施方針及び計画策定の進捗率を0%（H25）から45%（H29）に増加させる。																									
定量的指標の定義及び算定式																									
定量的指標の現況値及び目標値																									
備考																									
当初現況値																									
中間目標値																									
最終目標値																									
(H25当初)																									
(H27末)																									
(H29末)																									
①改築・更新実施済みポンプ場（汚水）の実施率 改築・更新実施済みポンプ場数（箇所）／改築・更新実施必要ポンプ場数 12（箇所）																									
5%																									
15%																									
8%																									
8%																									
②管路施設の改築更新の実施率 改築・更新実施済み区域の面積（ha）／改築・更新実施対象区域の面積 124.9（ha）																									
0%																									
20%																									
4%																									
37%																									
③マンホール蓋の改築率 安全対策型のマンホール蓋（浮上防止機能付き）数（基）／改築対象区域のマンホール蓋総設置基数 102（基）																									
0%																									
30%																									
19%																									
30%																									
④下水道による都市浸水対策達成率（社会資本整備重点計画） 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積 2,728（ha）																									
67%																									
68%																									
67%																									
67%																									
⑤都市下水路による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み延長（m）／浸水対策を実施すべき延長 2,852（m）																									
61%																									
65%																									
64%																									
67%																									
⑥改築・更新実施済みポンプ場（雨水）の実施率 改築・更新実施済みポンプ場数（箇所）／改築・更新実施必要ポンプ場数 12（箇所）																									
0%																									
0%																									
8%																									
8%																									
⑦ストックマネジメント実施方針及び計画策定の進捗率 計画策定までの検討済み項目（項目）／計画策定までに実施すべき検討項目 22（項目）																									
0%																									
0%																									
45%																									
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		6361百万円 3310百万円		A		6116百万円 3100百万円		B		－		C		245百万円 210百万円		D		－		効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)		3.9% 6.3%	
事後評価																									
○事後評価の実施体制、実施時期																									
事後評価の実施体制													事後評価の実施時期												
													令和3年1月～3月												
下水道事業に関する越谷市社会資本整備総合交付金評価事務取扱要領に基づき、「越谷市公共事業再評価委員会委員」及び「越谷市下水道事業運営審議会委員経験者」の中から2名に意見を求める。													公表の方法												
													市ホームページにて公表												

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A	基幹事業
---	------

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	国費率	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
中川処理区 (越谷公共下水道・汚水)																
A1-1-1	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	汚水ポンプ場改築更新	長寿命化及び耐震化調査 ・計画策定・改築更新3箇所 長寿命化及び耐震化調査 ・計画策定・改築更新1箇所	越谷市						396 106	
A1-1-2	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	管路施設改築更新	長寿命化調査・計画策定・ 改築更新 32ha	越谷市						611 202	
A1-1-3	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	管きょ地震対策事業	調査・計画策定・管きょ耐 震化	越谷市						333 160	
越谷排水区 (越谷公共下水道・雨水)																
A1-1-8	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	越谷レイクタウン排水区 (浸水対策)	□600～2000 L=0.4km 未実施	越谷市						30 0	
A1-1-9	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	千疋排水区 (浸水対策)	□600～1000 L=0.2km □600～1200 L=0.2km	越谷市						112 27	
A1-1-10	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	元荒川排水区 (浸水対策)	□2400×1900 L=0.1km [樋 管改築] 未実施	越谷市						270 0	
A1-1-12	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	大場落し排水区 (浸水対策)	□700～1000 L=0.2km □600～1000 L=0.2km	越谷市						60 43	
A1-1-13	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	新方川排水区 (浸水対策)	□1400～1800 L=2.0km 設計業務	越谷市						711 29	
A1-1-14	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	御料堀排水区 (浸水対策)	□600～2400 L=0.5km [管 理用道路]	越谷市						500 486	
A1-1-15	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	蒲生愛宕川排水区 (浸水対策)	□700×700 L=0.8km □500×900 L=0.7km	越谷市						80 59	
A1-1-16	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	浸水対策検討事業 (浸水対策)	浸水シミュレーション検討	越谷市						110 79	
A1-1-18	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	マンホール蓋改築	102箇所 31箇所	越谷市						25 3	
A1-1-19	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	雨水ポンプ場改築更新	長寿命化及び耐震化調査 ・計画策定・改築更新2箇所 長寿命化及び耐震化調査 ・計画策定・改築更新1箇所	越谷市						2000 1287	
A1-1-20	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	綾瀬川排水区 (浸水対策)	□800～1000 L=1.3km 設計業務	越谷市						255 4	
新川排水区 (越谷都市下水路・雨水)																
A1-1-17	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	4/10	新川都市下水路 (浸水対策)	□3300、U3300 L=0.5km 七左エ門川・伏せ越し □3300、U3300 L=0.3km 七左エ門川・伏せ越し	越谷市						560 535	
全城 (越谷公共下水道・汚水、雨水)																
A1-1-21	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	ストックマネジメント実施方針 及び計画の策定	ストックマネジメント実施 方針及び計画・調査・策定	越谷市						63 52	
合計														6116 3100		

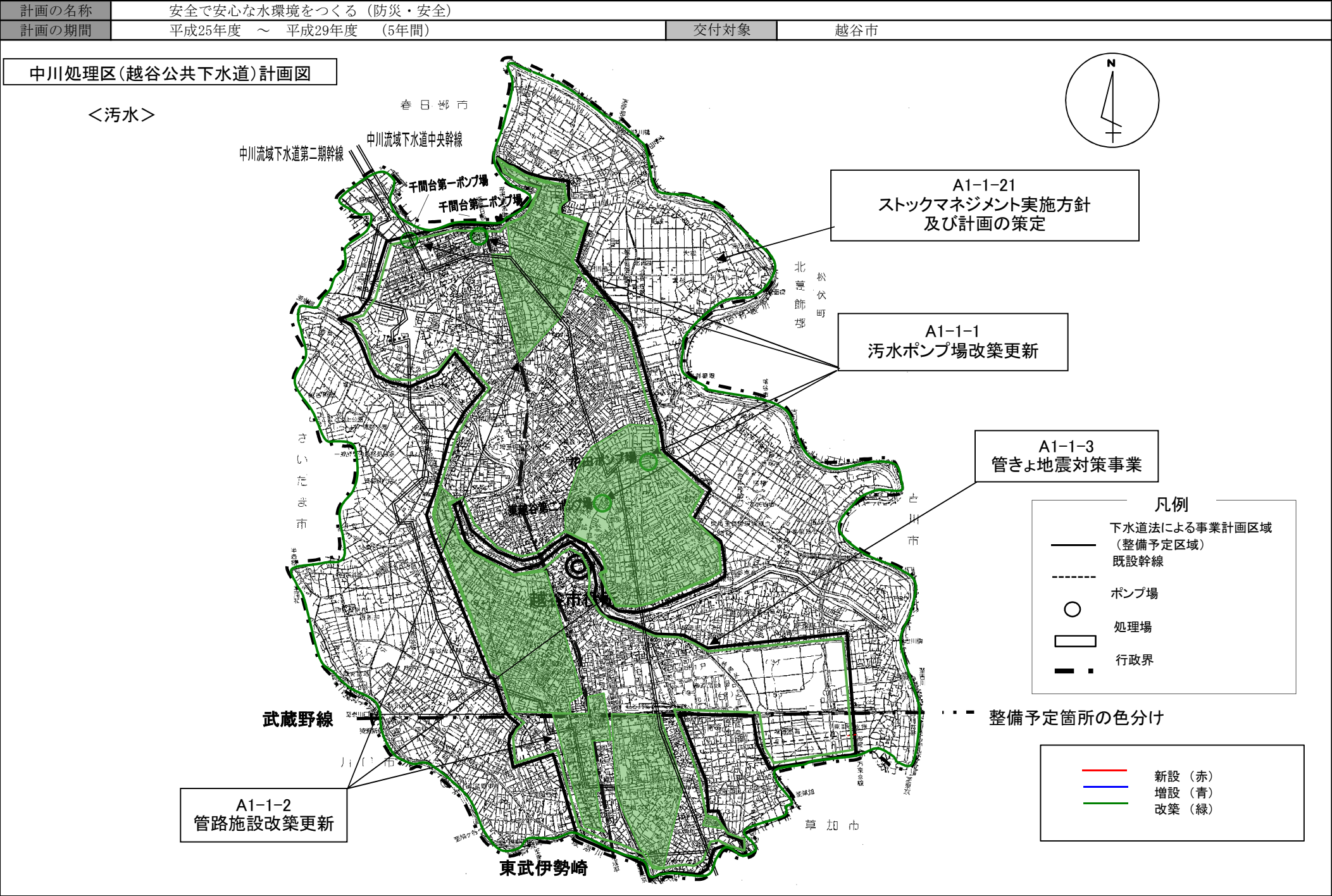
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	国費率	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
														合計		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	国費率	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
新川排水区 (越谷都市下水路・雨水)																
C-1-2	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	4/10	新川都市下水路 (浸水対策)	七左エ門川・伏せ越し	越谷市						150 140	
越谷排水区 (越谷公共下水道・雨水)																
C-1-3	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	内水ハザードマップ策定 (浸水対策)	内水ハザードマップ調査・ 策定 未実施	越谷市						20 0	
C-1-4	下水道	一般	越谷市	直接	越谷市	1/2	排水ポンプ車の整備 (浸水対策)	0.5m ³ /sec 1台、0.25m ³ /sec 2台の配備	越谷市						75 70	
合計														245 210		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															
C-1-2	基幹事業である新川都市下水路工事と七左エ門川との交差部処理 (伏せ越し工事) を一体的に行うことにより、新川都市下水路の事業進捗を図るとともに新川流域の内水被害の軽減を図る。															
C-1-3	基幹事業である雨水幹線の整備と内水ハザードマップの策定を一体的に行うことにより、安心安全な市民生活の確保を図るとともに、内水被害の軽減を図る。															
C-1-4	基幹事業である雨水幹線の整備と排水ポンプ車の整備を一体的に行うことにより、各浸水対策施設との相乗効果により内水被害の軽減を図るとともに、早期の効果の発現を図る。															

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	国費率	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
											合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		多方面から下水道施設の整備を行うことにより、市民に対し環境衛生の向上や、災害に強い下水道環境を提供することができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（改築・更新実施済みポンプ場（汚水）の実施率）	最終目標値	15%	目標値と実績値に差が出た要因	事業は進んでいるものの、労務費など工事単価の上昇により進捗が伸びず目標達成に至らなかった。
		最終実績値	8%		
	指標②（管路施設の改築更新の実施率）	最終目標値	25%	目標値と実績値に差が出た要因	—
		最終実績値	37%		
	指標③（マンホール蓋の改築率）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	事業は進んでいるものの、管路施設の改築更新を優先した結果、進捗が伸びず目標達成に至らなかった。
		最終実績値	30%		
	指標④（下水道による都市浸水対策達成率（社会資本整備重点計画））	最終目標値	69%	目標値と実績値に差が出た要因	事業は進んでいるものの、労務費など工事単価の上昇により進捗が伸びず目標達成に至らなかった。
		最終実績値	67%		
	指標⑤（都市下水路による都市浸水対策達成率	最終目標値	71%	目標値と実績値に差が出た要因	事業は進んでいるものの、労務費など工事単価の上昇により進捗が伸びず目標達成に至らなかった。
		最終実績値	67%		
	指標⑥（改築・更新実施済みポンプ場（雨水）の実施率）	最終目標値	8%	目標値と実績値に差が出た要因	—
		最終実績値	8%		
	指標⑦（ストックマネジメント実施方針及び計画策定の進捗率）	最終目標値	45%	目標値と実績値に差が出た要因	—
		最終実績値	45%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
本計画における各交付対象事業は、計画期間5ヵ年において各計画の策定や見直しを行いながら事業を実施してきた。しかしながら、本計画の定量的指標のうち、指標①、③、④、⑤である汚水ポンプ場の改築更新、都市浸水対策等において目標達成に至らなかったことから、これまでの経験を活かし各事業の更なる重点化、効率化を図りながら事業の進捗に努めていく。 また、近年の厳しい財政事情を踏まえ下水道事業の財源確保に努めるべく、適正な事業経営を行い、まちづくりの方針に沿って他事業とも連携を図りながら安全で安心な住環境の創出と維持に努めていく。					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

